

新基地建設反対名護共同センターニュース

新基地建設反対 5.26 国会包囲に1万人



「美ら海埋めるな」のボードを掲げる野党国会議員

辺野古新基地建設に反対する「国会包囲行動」が26日、1万人の参加で行われた。「基地の県内移設に反対する県民会議」、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動」などの共催で6度目の行動です。国政野党の国会議員や学者、オール沖縄会議などのメンバーが参加。沖縄県統一連の瀬長和男事務局長も訴えました。

首都圏中心の「基地のない平和な沖縄をめざす会」からも多数参加しました。沖縄と連帯する組織はほとんどの都道府県で生まれており、「沖縄の痛みは、日本の痛み。私の痛み」と受け止める国民が急速に広がっています。(写真提供・鹿子木徹氏)

“総がかり行動と「オール沖縄」連帯で
美ら海壊すな！土砂で埋めるな”



「基地のない平和な沖縄をめざす会」からの参加者



国会正門前の主催者と抗議行動参加者

「その土砂ストップ！沖縄集会」に250人



辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会は27日、沖縄市内で「その土砂ストップ！沖縄集会 命の海に基地はいらない」を開催、18都道府県から250人が参加しました。土木技師の北上田毅氏（抗議船船長）が辺野古新基地の土砂問題について講演し、全国港湾労連の諸見力氏が特別報告しました。まとめと提言で協議会の湯浅一郎顧問が、県外からの土砂搬入による外来生物混入で生態系を破壊する危険性を指摘。「生物多様性、非軍事をキーワードに運動をすすめよう」と訴えました。最後に「ふるさとの土砂を一粒たりとも戦争のために使わせない」運動を全国に呼びかける集会決議を採択しました。

翁長氏再選へ「政治経済懇話会」結成

懇話会は近く政策委員会を立ち上げ、2期目の翁長氏の経済政策を検討し、（ひやみかちうまんちゆの会）の調整会議と連携し、翁長雄志氏への出馬要請を模索していくとのこと。

翁長氏に出馬要請も

保守中道と企業が新組織立ち上げ
結成総会には、県内企業107社、保守中道の市町村議16人、那覇市、南城市、北谷町、西原町、中城村の首長などが参加しました。同懇話会の会長には県議会議長赤嶺昇が就任。副会長には、かりゆしグループの富山智士社長、沖縄ハムの長濱徳松会長が就きました。

保守中道と企業が

新組織立ち上げ
結成総会には、県内企業107社、保守中道の市町村議16人、那覇市、南城市、北谷町、西原町、中城村の首長などが参加しました。同懇話会の会長には県議会議長赤嶺昇が就任。副会長には、かりゆしグループの富山智士社長、沖縄ハムの長濱徳松会長が就きました。

